

医食同源米によって我が国の国難を解決するためのコンソーシアム
設立趣意書

設立発起人

東洋ライス株式会社

代表取締役 雑賀慶二

このコンソーシアムの目的は、現在我が国の国難となっている ①国の財政を圧迫している医療費を大幅に減らすこと、②次代を担う子供や妊婦の健康度を高めると共に、少子化を防ぐこと、③認知症患者を減らすと共に、健康寿命を延長させ、介護費を減らすこと、④コメ消費量を増やし食料自給率の向上を図ること、⑤休耕地を無くすと共に、コメの輸出によって海外の人々にも健康長寿で貢献すること、⑥コメの価値を高め、生産農家の意欲向上を図ること、であります。

皆様はそれらを夢物語りだと思われるでしょう。しかし決して夢物語りではないのです。それも大した費用も掛からずに実現出来ることであり、既の実証されている事例もあるのです。

つまり昭和 30 年頃から始まった新方式の精米機によって、世の中に過精白の白米が普及し出して以来、人々の食事は、『モミラクトン』（注）をはじめ、素晴らしい健康成分をほとんど取り去ってしまった白米食をされることとなりました。しかもそれら健康成分の中には、コメ以外の他の食品からは摂ることが出来ないものもあり、人々はそのうちに未病状態に陥り、やがて糖尿病など種々の病に罹患する結果、昭和 30 年頃の医療費は僅か 2300 億円程度であったものが、昨今では 50 兆円近くに膨張していると考えられるからであります。

従って、近年発明された米の加工法によって、健康成分を多く残したコメに変えられるだけで医療費が激減出来る事になると考えられるからです。

なお、ここにいう「医食同源米」とは、健康成分が多く含まれる亜糊粉層を残して無洗米に加工された白米、分搗き米の無洗米、発芽玄米の無洗米、玄米の表皮の蠟層を除去して無洗米に加工された玄米などを指します。それらはインターネットで検索すると多くの企業により様々な商品が売り出されていますが、昨今の食事情に鑑みた場合、その「医食同源米」によって、これまでの白米や玄米よりも美味しく食べ続けられ、無洗米によって環境浄化を果たし、SDGs にも貢献でき、そして人々の炊飯の手間を減らすことは、本コンソーシアムの目的達成には、必須の条件であると考えます。

具体的には、消費者がこれまで食されていた白米を、『品種に関係なく、精米法を変えただけの素晴らしい健康成分を多く残した「医食同源米」』に変えるだけで、上記①～

⑥の国難が改善出来る蓋然性が高いのであります。それが夢でないことは、例えば医食同源米を給食に使った3企業596人の医療費が、実に約60%に下がった事実と、その論文が諸外国に発表され、農水省のホームページにも掲載されていることから伺えるでしょう。

更に申し上げたい事は、本コンソーシアムの最大の目的は、特に次代を担う子供達と、出来れば妊婦にも、優先して早急に医食同源米を摂取させることとあります。そのために現在、和歌山県すさみ町の小中学生の学校給食や、大阪府泉大津市の妊婦のご家族に対し、弊社が無償または廉価にて医食同源米を提供しておりますが、今後、全国規模で通常価格よりも廉価にて提供することを計画しています。弊社を含めた全国の医食同源米の製造メーカーの増加販売益をその原資にすることとし、それが不足の時は弊社が負担する所存であります。

そもそも、弊社が何故その様な活動をしているのか。実は以前から医食同源米によって、上記国難を大幅に改善できる事を確信した弊社は、国に対し、『弊社の特許権を国に譲渡するから、医食同源米を推進して欲しい』とお願いしたのですが、実現出来ませんでした。このため、本コンソーシアムによる展開を目指したのであります。

従って、本コンソーシアムによって、産（コメの生産者、精米業者、流通業者、外食業者）、官（行政）、学（学識経験者）、消（個人または法人による消費者）が一丸となって、上記国難の改善に向けて、医食同源米の普及にお取り組み頂く事を期待しているところでもあります。

勿論、皆様はこの趣意書を読まれただけでは、到底ご理解出来ないことと思われまので、今後各地にて、資料を呈した本コンソーシアムの説明会を開催し、質疑応答などによりご理解を深めて頂こうと考えておりますので、宜しく願い申し上げます。

以上